

## 第5章 色彩基準

### (1) 色彩、色彩基準の見方

中津川市景観計画では色彩を正確かつ客観的に表すために、マンセル表色系を採用しています。マンセル表色系ではひとつの色彩を色相、明度、彩度という3つの要素の組み合わせによって表現しています。色相、明度、彩度とは以下のように定義されています。

#### 色相H (Hue)

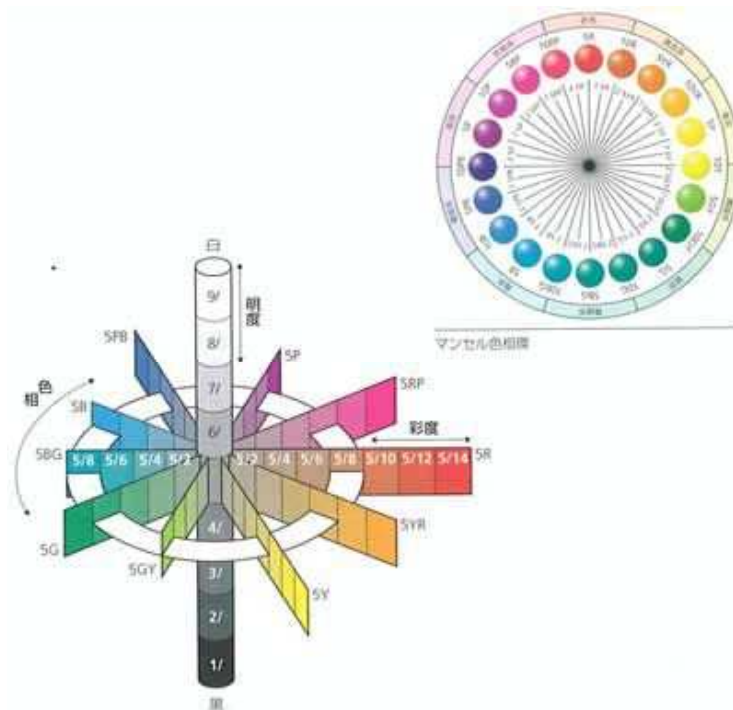
赤 (R)・黄 (Y)・緑 (G)・青 (B)・紫 (P) の5つの基本色相と黄赤 (YR)・黄緑 (GY)・青緑 (BG)・青紫 (PB)・赤紫 (RP) の5つの中間色相があり、各色相に0～10の目盛りが付けられます。色相とは赤や青といった「色合い」を表します。

#### 明度V (Value)

色の「明るさ (明暗)」の要素が明度です。明度が最大の場合白、最も暗くなると黒になります。黒を0、白を10としたスケールで表し、色相に関係なく比較する明るさの度合いです。

#### 彩度C (Chroma)

色の「鮮やかさ」の度合いを表します。色合いの強弱のことで、彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色 (グレー) になります。色相の中で最も彩度の高い色のことを特に純色と言いますが、無彩色を0として、純色と混合して純色成分の比率を上げていくと色はだんだん鮮やかになります。また、色相・明度によって彩度の上限は異なります。



※この冊子の色彩に関して、印刷による色表現のため実際のマンセル値と異なる場合があります。

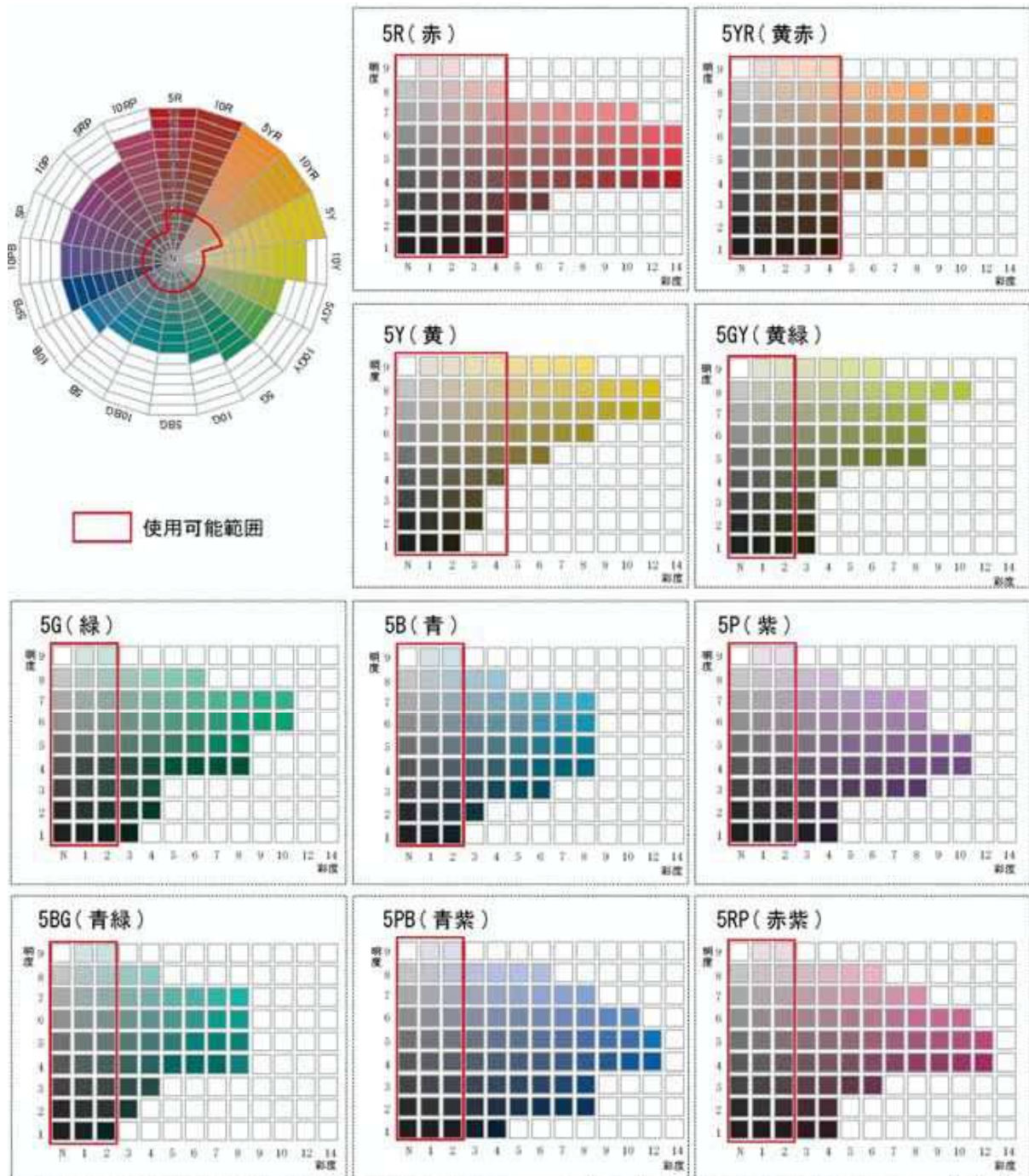
## (2) 景観計画区域における色彩規制

大規模建築物の色彩については、右の色彩基準が定められています。周辺の色調と調和する落ち着いたものとし、彩度を落とした色彩を用いることに努めます。

ただし、外部から見える壁面面積の5%程度までのアクセント的に使用する場合はこの限りではありません。

【建築物の色彩基準】

色相	明度	彩度
0.1R ~ 10R	—	4 以下
0.1YR ~ 5Y	—	4 以下
それ以外	—	2 以下



### ■大規模建築物の色彩イメージ

周辺景観との調和を考慮し、樹木等の緑が映えるように落ち着いた色彩を選択し、色彩景観の形成に努めます。また、彩度の高い色彩は出来る限り使用を避けるか、または壁面面積の5%程度でアクセント的に使用します。



### (3) 中山道沿道景観区域における色彩誘導基準

中山道沿道景観区域では色彩規制は設けてはいませんが、黒、茶、白を中心とし、背景となる空と水と緑に調和した色彩とします。

広告物等については、彩度の高い色はアクセント的に用い、全体として落ち着いた色彩とします。



#### (4) 景観計画重点区域における屋根及び外壁の色彩規制

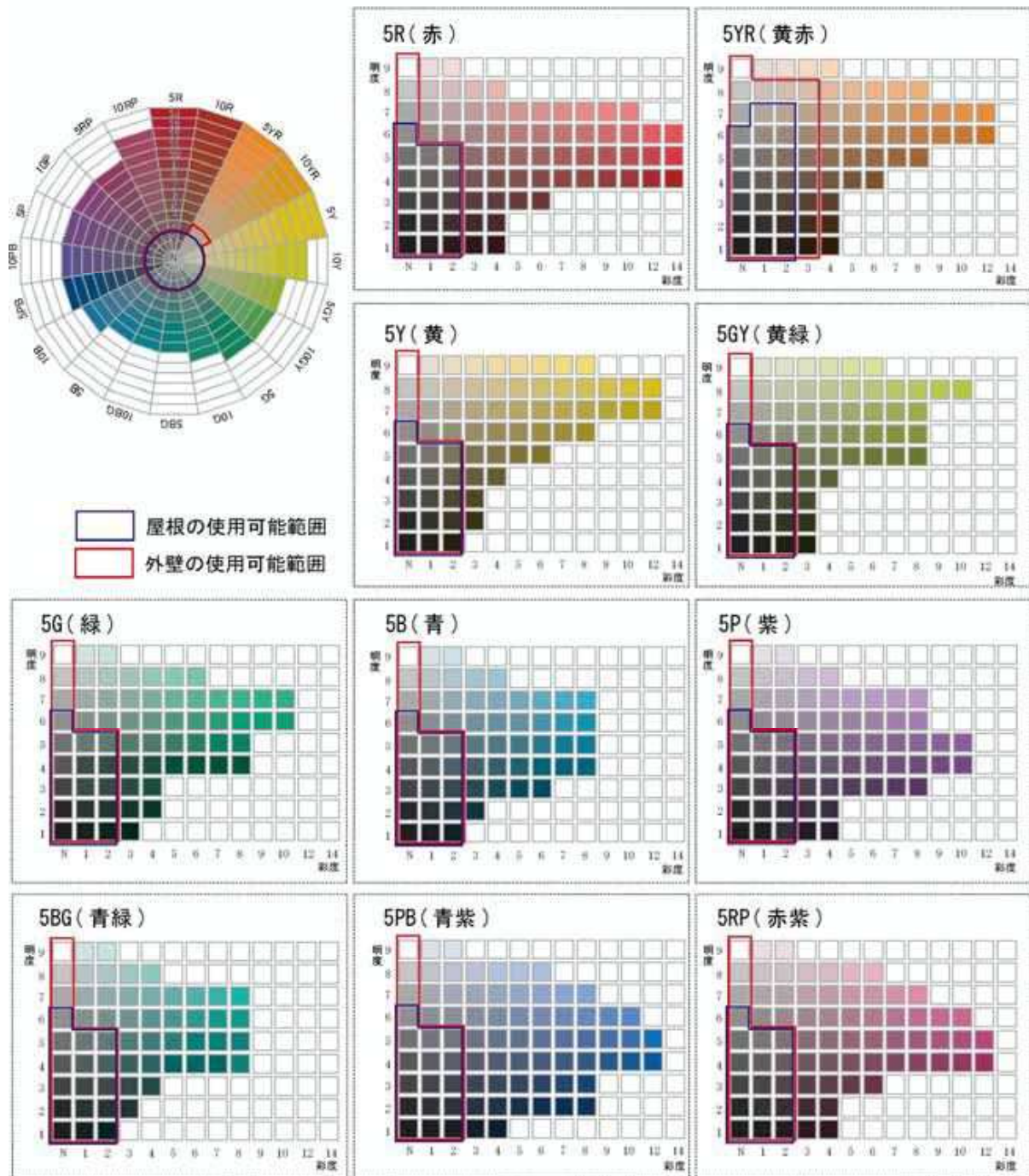
景観計画重点区域内の建築物の屋根および外壁の色彩については、以下の色彩基準が定められています。ただし、着色していない木材等の場合はこの限りではありません。

【建築物の屋根の色彩基準】

色相	明度	彩度
N	1～6.5	—
YR. 1～10	1～7	2以下
それ以外	5以下	2以下

【建築物の外壁の色彩基準】

色相	明度	彩度
N	1～9.5	—
YR. 1～10	1～8	3以下
それ以外	5以下	2以下



■推奨する色彩例

景観計画重点区域の建築物の屋根および外壁は以下のような落ち着いた色彩を見本として、周辺のとの調和した景観形成を図ることに努めます。

色彩例－外壁



色彩例－屋根



■屋根および外壁の色彩イメージ

景観計画重点区域の建築物の屋根および外壁は、落ち着いた色彩を用いられている街道の建築物をいっそう引き立たせ、まちなみとして一体感や連続感のある景観を形成するために下図のような落ち着いた低彩度を用います。



## (5) 公共施設における推奨色

公共施設は、周辺環境への影響が大きいことから、周辺環境へ調和する色彩とすることとします。

### ■対象とする公共施設

①公共建築物

②道路

⇒道路付属物として：照明灯、防護柵・ガードレール・柵、カーブミラー等

⇒道路占用物件として：横断歩道橋、電柱とその他（ごみの集積所、消火栓、地上変圧器等）

③橋梁

④鉄塔

⑤法面（擁壁）

### ■参考とするガイドライン

下のガイドラインは、事業担当職員が事業執行の段階で活用するものとして、基本的な視点や検討方法、参考事項などを可能な限り網羅的に整理しています。

- 1) 「官庁営繕事業における景観形成ガイドライン」
- 2) 景観形成ガイドライン「都市整備に関する事業」
- 3) 河川景観ガイドライン「河川景観の形成と保全の考え方」
- 4) 「砂防関係事業における景観形成ガイドライン」
- 5) 「道路デザイン指針」
- 6) 「住宅・建築物等整備事業に係る景観形成ガイドライン」
- 7) 「航路標識整備事業景観形成ガイドライン」
- 8) 中部地方整備局公共事業における色彩・デザイン指針

※1) ～7) は国土交通省、8) は中部地方整備局

## ①公共建築物

### ■基本方針

- ・公共建築物は、その用途から大規模で、遠景からも見えやすいものであることが多いです。
- ・地域のシンボリックな建築物になりやすいため、周辺環境と調和し、親しみやすいデザインとする必要があります。

### ■推奨色

- ・景観計画重点区域では、建築物の色彩基準に遵守し、アクセントカラーは全体の5%程度に留めます。
- ・黒、茶、白を中心とし、背景となる空と水と緑に調和した色彩とします。
- ・壁面が大きくなる場合は、適度に分節化することで圧迫感を低減します。
- ・ただし、外壁に木や石、漆喰等の自然素材を使用する場合は、この限りではありません。

推奨色	景観計画重点区域、中山道沿道区域、景観資源周辺区域、眺望景観の配慮							
	色彩例－外壁				色彩例－屋根			

### ■整備事例



中山道歴史資料館(本町)

## ②道路

### ■基本方針

- ・市街地においては、道路はそれ自体が目立つものではありませんが、沿道に続く植栽やまちなみを際立たせるものです。
- ・道路舗装や付属物、占有物は控えめなデザインや色彩とすることで、自然環境の中にも調和します。

### ②-1 道路付属物

#### ■推奨色

- ・照明灯、防護柵・ガードレール・柵、カーブミラー等の道路付属物は、色彩を統一することでまちなみを引き立てる道路と一体的に見えます。

推奨色	中津川市推奨色	国の景観色（景観に配慮した道路附属物等ガイドライン）			
	 10R2.0/1.0	 10R3.0/0.2 ダークグレー	 10YR2.0/1.0 ダークブラウングレー	 10YR6.0/1.0 ベージュ	 5Y7.0/0.5 オフグレー

#### ■整備事例



ガードレール及びカーブミラー（馬籠）



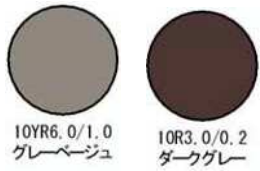
カーブミラー（本町）



## ②-2 道路占有物件（横断歩道橋）

### ■推奨色

- ・横断歩道橋は、高い位置に設置されるため、視界を遮り圧迫感が強くなります。背景となるまちなみや山なみ等へ配慮し、圧迫感の軽減を図ります。
- ・ガードレール等の道路付属物と色彩を統一することで、まちなみを引き立てる道路と一体的に見えます。

推奨色	
-----	--

### ■整備事例



横断歩道橋(町裏)

②-3 道路占有物件（電柱）

■推奨色

- ・歴史的なまちなみが残る地域、又は、眺望に配慮の必要な地域では、電柱の色彩は落ち着いたものを使用することで、まちなみや背景の空に調和します。

推奨色	<p>中津川市推奨色</p>  <p>10R2.0/1.0</p>	<p>国の景観色（景観に配慮した道路附属物等ガイドライン）</p>			
	 <p>10R3.0/0.2 ダークグレー</p>	 <p>10YR2.0/1.0 ダークブラウングレー</p>	 <p>10YR6.0/1.0 ベージュ</p>	 <p>5Y7.0/0.5 オフグレー</p>	

■整備事例



電柱（本町）

## ②-4 その他の道路占有物件

### ■推奨色

- ・ごみの集積所や地上変圧器、消火栓等の道路占有物は、原色やそれに近い色彩を避け、まちなみに調和した色彩を使用します。

### ■整備事例



地上変圧器



消火器格納箱

## ②-5 道路舗装（中山道）

### ■推奨色

- ・地道風とすることで、沿道の植栽や、まちなみが映え、中山道の魅力が向上します。

### ■整備事例



### ③橋梁

#### ■基本方針

- ・市街地から郊外まで様々な地域に設けられているうえ、規模や構造、形状が場所により様々であるため、総合的な景観配慮が望まれます。
- ・塗装色と配色を工夫することで、周辺景観との融和や重厚感・存在感の低減を図りつつ、高欄との色彩の関係性もより良いものとします。

#### ■推奨色

- ・周辺環境に応じて、色彩を選択します。
- ・景観上重要な拠点がある場合、大規模なもの、形状が特殊なものは個別に検討します。
- ・ただし、石などの素材を化粧材とする場合は、この限りではありません。

#### ■整備事例



四ツ目川橋(中津)



夜明け大橋(落合)

(景観担当部署等と検討が必要な大規模な橋梁)



恵那峡大橋



手前:国道19号 奥:中央自動車道

#### ④鉄塔

##### ■基本方針

- ・鉄塔は、それ自体に高さがあることに加え、開けた田園地や山の上に設置されることも多くあります。背景となる山なみや空に溶け込む色彩となるよう配慮します。
- ・60m以上の鉄塔では、高光度航空障害灯、又は、中光度白色航空障害灯を使用することで、昼間障害標識（赤白の塗装）は不要になります（60m未満は昼間障害標識の対象外）。

##### ■推奨色

- ・周辺の景観に違和感なく溶け込む低明度・低彩度の色彩や低光沢処理を基本とします。
- ・背景が空の場合は、明度の高い色彩、山なみや森林の場合は、明度の低い色彩とします。

推奨色	中津川市推奨色	国の景観色（景観に配慮した道路附属物等ガイドライン）			
	 10R2.0/1.0	 10R3.0/0.2 ダークグレー	 10YR2.0/1.0 ダークブラウングレー	 10YR6.0/1.0 ベージュ	 5Y7.0/0.5 オフグレー

##### ■整備事例



茶色い塗装の鉄塔（苗木）

#### ⑤法面（擁壁）

##### ■基本方針

- ・長大で単調な法面は、自然環境の中では無機質な印象になるため、可能な限り緑化することで、圧迫感を軽減します。

■推奨色の運用について

現在も行っている事前相談等について流れを明記するものです（届出不要）。

すべての公共施設のうち、景観上重要な事業については、景観担当部署と連携して景観面の検討を行います。特に重要な施設は、景観審議会での審議や景観アドバイザーの活用、景観法に基づく「景観重要公共施設」への指定等も視野に入れて進めます。

相談、協議等の手続を義務づけることは、当面は行わないものとします。

